

2021年3月期 第1四半期

決算説明資料



三井松島ホールディングス
MITSUI MATSUSHIMA HOLDINGS

2020年8月

◆ 2021年3月期 第1四半期決算報告	... 3
◆ 2021年3月期 連結業績予想	... 9
◆ 参考資料	...17

2021年3月期第1四半期決算報告

連結損益計算書

(単位:百万円)	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	対前期比 増減額	主要な変動要因
売上高	16,722	15,322	▲1,399	・エネルギー事業(石炭生産分野)における石炭価格の下落 ・前年度末における株式会社エムアンドエムサービスの株式売却に伴う連結除外
営業利益 (のれん償却前営業利益)※	1,009 (1,171)	504 (673)	▲505 (▲498)	エネルギー事業(石炭生産分野)における石炭価格の下落
経常利益	1,075	1,622	+547	為替差益650百万円
親会社株主 四半期純利益	697	1,416	+718	負ののれん発生益333百万円(特別利益) 感染症関連損失320百万円(特別損失) 税金費用208百万円

連結セグメント情報

- ◆ エネルギー事業 石炭販売分野、石炭生産分野、再生可能エネルギー分野
 - ◆ 生活関連事業 事務機器分野、飲食用資材分野、衣料品分野、電子部品分野、介護分野、ペット分野
- ※2021/3期1Qより(株)ケイエムテイ（ペット分野）、三生電子(株)（電子部品分野）が連結加入したものの、2020/3期4Qに(株)エムアンドエムサービスが連結除外となったことにより減収
新型コロナウイルス感染拡大の影響による衣料品分野での販売減少などにより減収・減益

【売上高】

事業名 (単位：百万円)	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	対前期比較 増減額
エネルギー	10,857	9,934	▲923
生活関連 内、衣料品分野	5,555 1,222	5,068 355	▲487 ▲866
その他	294	307	+13
調整額	14	11	▲2
合計	16,722	15,322	▲1,399

【セグメント利益】

事業名 (単位：百万円)	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	対前期比較 増減額
エネルギー	1,120	629	▲490
生活関連 内、衣料品分野 (のれん償却前)	248 111 (410)	181 ▲47 (350)	▲66 ▲158 (▲59)
その他	17	35	+17
調整額	▲376	▲342	+34
合計 <i>のれん償却前</i>	1,009 1,171	504 673	▲505 ▲498

※「エネルギー」におけるセグメント利益には、持分法投資損益（2020/3期1Q 60百万円、2021/3期1Q 28百万円）が含まれております。

※「その他」は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び港湾事業等を含んでおります。

※「調整額」における売上高は、全社資産の賃貸収入が含まれており、セグメント利益には、上記持分法投資損益の控除、各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用等が含まれております。

エネルギー事業の内訳

- ◆ 石炭販売分野 売上高：石炭価格の下落により減収
利益：石炭販売数量の増加により増益
- ◆ 石炭生産分野 売上高、利益：石炭価格の下落などにより減収・減益

【売上高】

分野名 (単位:百万円)	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	対前期比較 増減額
石炭販売分野	8,592	8,327	▲265
販売数量	78万トン	101万トン	+22万トン
石炭生産分野	4,107	3,310	▲797
販売数量	31万トン	34万トン	+2万トン
再生可能 エネルギー分野	100	92	▲8
調整額	▲1,941	▲1,794	+147
合計	10,857	9,934	▲923

【利益】

分野名 (単位:百万円)	2020/3期 1Q	2021/3期 1Q	対前期比較 増減額
石炭販売分野	21	31	+9
石炭生産分野 (内、持分法投資損益)	1,041 (60)	547 (28)	▲493 (▲32)
再生可能 エネルギー分野	57	50	▲6
調整額	—	—	—
合計	1,120	629	▲490

※調整額には、分野間での取引高等が含まれております。

主要指標	2020/3期 1Q実績	2021/3期 1Q実績	差額
石炭生産分野 (1～3月決算)			
販売数量 一般炭	26万トン	29万トン	+2万トン
販売数量 非微粘結炭	6万トン	5万トン	▲0万トン
石炭平均価格 一般炭	US\$ 109.24	US\$ 80.82	US\$ ▲28.43
石炭平均価格 非微粘結炭	US\$ 138.71	US\$ 103.54	US\$ ▲35.17
為替 A\$ / US\$ (平均レート)	US\$ 0.71	US\$ 0.63	豪ドル安 US\$ ▲0.08
為替 A\$ / 円 (平均レート)	78.4円	71.7円	円高 ▲6.7円

連結貸借対照表

(単位:百万円)	2020/3月末		2020/6月末		増減額	主な増減要因
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)		
流動資産	32,881	52.1	34,388	50.9	+1,507	現金及び預金+2,414、売掛債権▲1,420、棚卸資産+608
固定資産	30,274	47.9	33,217	49.1	+2,942	無形固定資産+1,102、投資有価証券+1,286
資産合計	63,155	100.0	67,605	100.0	+4,450	
流動負債	14,071	22.3	18,523	27.4	+4,451	短期借入金+3,780、支払債務+529
固定負債	16,082	25.5	16,918	25.0	+835	長期借入金+841
負債合計	30,154	47.7	35,441	52.4	+5,287	
純資産合計	33,001	52.3	32,164	47.6	▲837	親会社株主四半期純利益+1,416、支払配当金▲653、為替換算調整勘定▲1,575
負債・純資産合計	63,155	100.0	67,605	100.0	+4,450	

(単位:百万円)	2020/3月末	2020/6月末	増減額
現金及び預金 (長期預金含む)	17,953	20,368	2,414
借入金 (社債含む)	▲17,077	▲21,700	▲4,622
ネット現預金	875	▲1,331	▲2,207

《経営指標》

自己資本比率 (%)	52.3	47.5
D/Eレシオ (倍)	0.54	0.66

連結貸借対照表(2020/6月末)

流動資産 344億

・現預金	204億
・売上債権	72億
・棚卸資産	48億

流動負債 185億

・仕入債務	42億
・借入金	94億

固定負債 169億

・借入金	123億
・リース	12億

固定資産 332億

・有形固定	158億
(建物・機械等)	(65億)
(土地)	(77億)
(リース)	(12億)
・無形固定	115億
(のれん)	(108億)
・有価証券	31億

純資産 322億

自己資本比率
47.5%

総資産 676億

負債・純資産 676億

2021年3月期 連結業績予想

2021年3月期 連結業績予想

- ◆ 2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、合理的な業績予想の算定ができないため未定としておりましたが、**現時点で入手可能な情報に基づき合理的に予測される前提条件の下、業績予想を公表**することと致しました。
なお、引き続き不透明な経営環境が予想されるため、業績の見通しに変更があった場合には速やかに公表致します。
- ◆ 配当につきましては、今後の業績動向を慎重に見極めつつ、総合的な観点から取締役会において決定致します。

- ◆ 売上高 2021/3期1Qより(株)ケイエムテイ、三生電子(株)が連結加入したものの、石炭販売・石炭生産分野における石炭価格の下落、2020/3期4Qに(株)エムアンドエムサービスが連結除外となったこと及び新型コロナウイルス感染症の影響により衣料品分野で販売が減少したこと等により減収
- 営業利益 2021/3期1Qより(株)ケイエムテイ、三生電子(株)が連結加入したものの、石炭生産分野における石炭価格の下落及び新型コロナウイルス感染症の影響により衣料品分野で販売が減少したこと等により減益

(単位:百万円)	①2020/3期 実績	②2021/3期 業績予想	増減 (②-①)
売上高	66,596	54,500	▲12,096
営業利益 (のれん償却前営業利益)	2,741 (3,459)	200 (877)	▲2,541 (▲2,582)
経常利益	2,995	1,300	▲1,695
当期純利益	2,292	700	▲1,592

1株当たり配当(円)

50

未定

-

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果になる可能性があります。

今後、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示する予定でございます。

- ◆ 今後更なる新型コロナウイルス感染拡大及びこれに伴う景気低迷・経済悪化が進んだ場合、想定される各事業への影響は以下の通りです。

事業分野	現時点での今期見通し及び事業への影響 (8/7 現在 今期見通しに織り込み済の事象)	今後、新型コロナ感染が再拡大し、更なる 経済悪化が進んだ場合等の今期への影響
石炭生産・販売	<ul style="list-style-type: none"> 販売数量の内、石炭価格は今期取引量の7割程度は確定 新型コロナウイルスや豪州-中国間の経済摩擦等を背景にした石炭価格下落 (下期GCI US\$50で想定) 今期想定される平均為替の悪化継続 (下期A\$/US\$ 0.72で想定) 	<ul style="list-style-type: none"> 更なる石炭価格の下落による業績悪化 更なる為替悪化による差損の発生 需給バランスを是正するために生産調整を余儀なくされる可能性
衣料品	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務の推進によるスーツ需要低下の継続 特に感染者の多い地域での外出自粛等による客足の戻りの鈍さが継続 ソーシャルディスタンス確保(予約制等)による操業効率の低下 (下期対前年60%程度の水準の市場規模を想定) 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ感染再拡大による営業自粛及び外出自粛の再要請に伴う業績悪化
事務機器	<ul style="list-style-type: none"> 営業活動の期ずれ、納入活動の遅延が一定程度継続が見込まれるものの、徐々に回復基調へ 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅勤務の推進に伴い、オフィス用機器に対する設備投資意欲の後退
その他	<ul style="list-style-type: none"> 経済活動の停滞により一部市場の縮小が見受けられるも、利益ベースでは特段大きな影響はない 	<ul style="list-style-type: none"> 人・モノの動きが滞り、景気の悪化傾向が強まれば、更なる市場の縮小が懸念される

2021年3月期 連結セグメント業績予想

- ◆ エネルギー事業 石炭販売・石炭生産分野共に石炭価格の下落により減収減益
- ◆ 生活関連事業 2021/3期1Qより(株)ケイエムテイ、三生電子(株)が連結加入したものの、2020/3期4Qに(株)エムアンドエムサービスが連結除外となったこと及び新型コロナウイルス感染症の影響により衣料品分野で販売が減少したこと等により減収減益

【売上高】

事業名 (単位：百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 予想	対前期比較 増減額
エネルギー	41,010	30,700	▲10,310
生活関連 内、衣料品分野	24,215 4,372	22,400 2,300	▲1,815 ▲2,072
その他・調整額	1,370	1,400	+30
合計	66,596	54,500	▲12,096

【セグメント利益】

事業名 (単位：百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 予想	対前期比較 増減額
エネルギー	3,291	600	▲2,691
生活関連 内、衣料品分野 (のれん償却前)	802 50 (1,520)	900 ▲800 (1,577)	+98 ▲850 (+57)
その他・調整額	▲1,352	▲1,300	+52
合計 (のれん償却前)	2,741 (3,459)	200 (877)	▲2,541 (▲2,582)

※「エネルギー」におけるセグメント利益には、持分法投資損益（2020/3期 80百万円、2021/3期 ▲23百万円）が含まれております。

※「その他」は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び港湾事業等を含んでおります。

※「調整額」における売上高は、全社資産の賃貸収入が含まれており、セグメント利益には、上記持分法投資損益の控除、各報告セグメントに配分していない全社収益・全社費用等が含まれております。

エネルギー事業の業績予想の内訳

- ◆ 石炭販売分野 売上高、利益：石炭価格の下落により減収減益
- ◆ 石炭生産分野 売上高、利益：石炭価格の下落により減収減益
- ◆ 再生可能エネルギー分野 2020/3期と同程度の水準を見込む

【売上高】

分野名 (単位:百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 予想	対前期比較 増減額
石炭販売分野	34,964	26,800	▲8,164
販売数量	365万トン	377万トン	+12万トン
石炭生産分野	13,073	10,200	▲2,873
販売数量	123万トン	136万トン	+13万トン
再生可能 エネルギー分野	308	300	▲8
調整額	▲7,336	▲6,600	+736
合計	41,010	30,700	▲10,310

【利益】

分野名 (単位:百万円)	2020/3期 実績	2021/3期 予想	対前期比較 増減額
石炭販売分野	127	90	▲37
石炭生産分野 (内、持分法投資損益)	3,031 (80)	380 (▲23)	▲2,651 (▲103)
再生可能 エネルギー分野	132	130	▲2
調整額	—	—	—
合計	3,291	600	▲2,691

※調整額には、分野間での取引高等が含まれております。

石炭生産分野の主要指標 及び 為替変動による当期純利益影響額

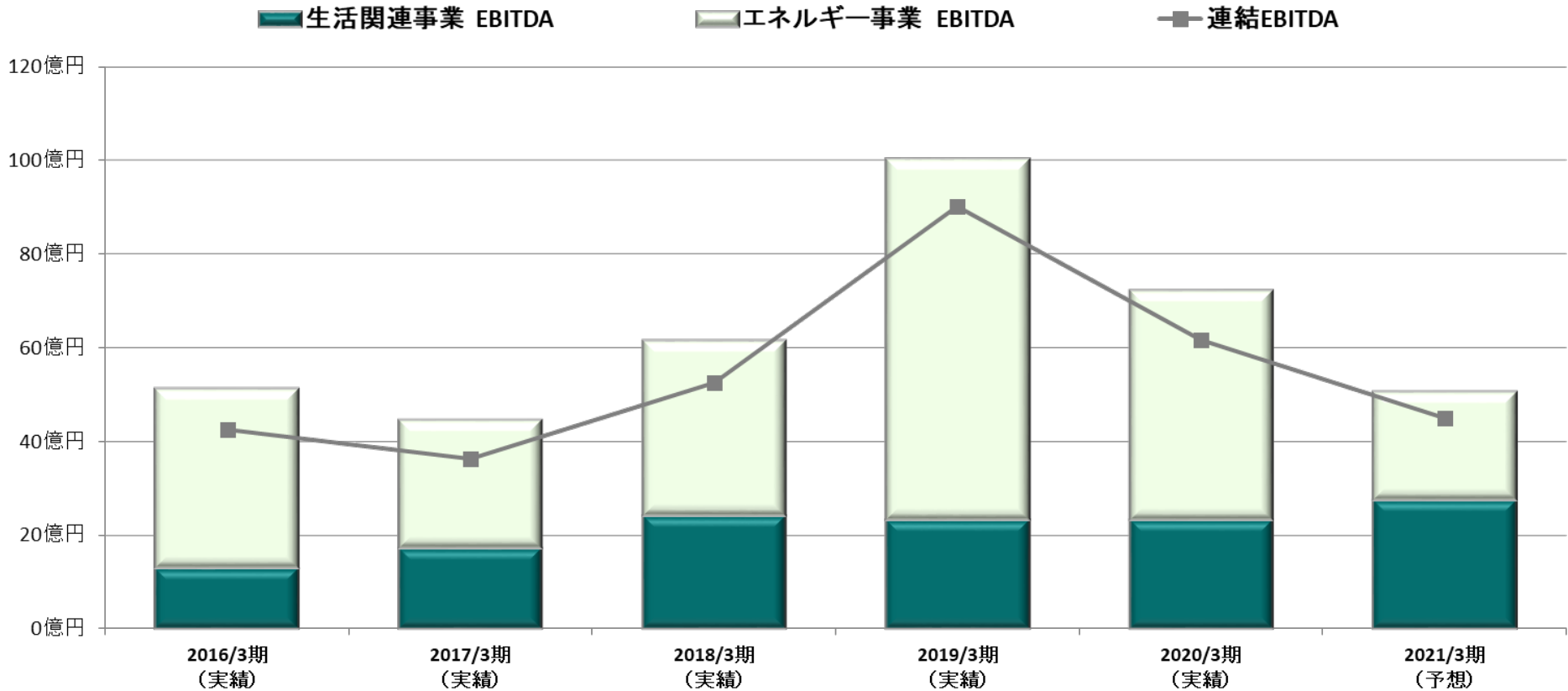
	主要指標	2020/3期実績	2021/3期予想	差額
石炭生産 (1~12月決算)	販売数量 (一般炭)	105万トン	119万トン	+14万トン
	販売数量 (非微粘結炭)	18万トン	17万トン	▲1万トン
	石炭平均価格 一般炭	US\$90.9	US\$67.3	▲US\$23.6
	石炭平均価格 非微粘結炭	US\$122.8	US\$82.5	▲US\$40.3
	為替 A\$/US\$ (平均レート)	US\$0.69	US\$0.69	-
	為替 A\$/円 (決算：平均レート)	75.8円	73.2円	円高 2.6円

販売数量のうち、石炭価格が確定している量は、**現時点(8/7)で全体の7割程度**。

残りの3割は、一般炭のGCI※連動または10月起こし価格、および原料炭の四半期価格により変動

※「globalCOAL」INDEX・・・オーストラリアニューキャッスル港積 標準品位一般炭指標の推移(globalCOAL:石炭関連電子商品取引所)

エネルギー事業・生活関連事業・連結のEBITDA推移



- ◆ 新規事業の育成・強化を積極的に推進してきた事により、生活関連事業のEBITDAは着実に増加。
- ◆ 石炭価格の下落によりエネルギー事業EBITDAが大きく減少。生活関連事業がエネルギー事業を上回る。

※EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費

生活関連主要事業の売上・EBITDA推移

生活関連主要事業の売上・EBITDA推移

2014年2月～

日本ストロー

花菱縫製

クリーンサフェイス技術

明光商会

三生電子

エムアンドエムサービス

2015年10月～

2017年2月～

2019年4月～

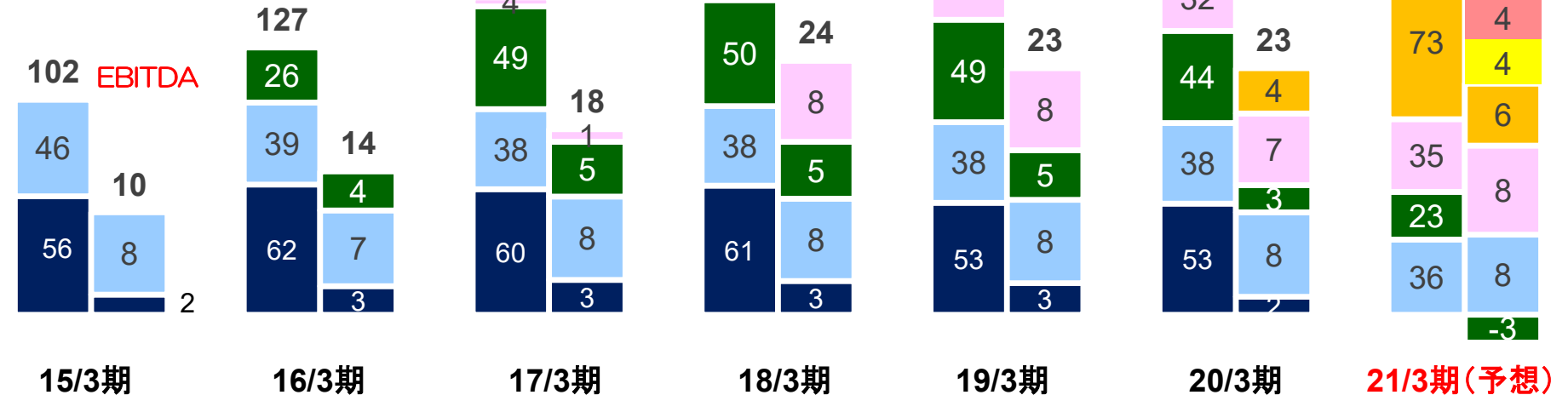
ケイエムティ

2012年7月～

2020年4月～

2020年3月31日（売却済）

売上高



※EBITDA＝経常利益＋支払利息＋減価償却費＋のれん償却費

参考資料

石炭マーケット状況

◆ 「global COAL」 INDEX オーストラリア ニューキャッスル港積 標準品位一般炭指標の推移

(US\$/Mt)

※global COAL・・・石炭関連電子商品取引所



		2018年				2019年				2020年	
		1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
原料炭 ※	強粘結炭	237	197	188-189	212-213	210-211	207-208	177-178	141-142	147-148	135-136
	非微粘結炭	150	132	129	135	132	129	115	107	100-104	95-103.7
一般炭	4月契約	84.97	110.00				94.75				68.75
	10月契約	94.75			109.77				72.75		
為替	A\$/US\$	US\$0.74				US\$0.69				US\$0.63	未定
	A\$/円	82.6円				75.8円				71.7円	未定

※ 2017年4月から原料炭価格はスポット連動方式へ移行

本資料の将来の業績に関わる記述等については、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い、変化する可能性があることにご留意下さい。従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行なってください。また本資料の利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切の責任を負いません。

＜IR問い合わせ先＞ 総務部・経営企画部 TEL 092-771-2171